



## 自分たちの持つ力を生かした就労の場を

### オフィスビジュアル21（藤沢市）

本年度を開始年度とした新たな「障害者基本計画」は、障害者の社会参加や参画に向けた施策の一層の推進が図られるものとして期待が高まっています。しかし、障害者雇用にあつては、長引く景気の低迷からか、その促進が遅々として進まない現状があります。

今回は、視覚に障害のある方たち自らが起業した「オフィスビジュアル21」（以下、オフィス）代表の川崎禎輔さんほか、スタッフの皆さんにお話を伺いました。

### できることを見出し・生かしあう

行政の広報誌や個人の名刺等の点字製版・印刷を中心に、視覚障害者用パソコンソフトの販売やパソコン指導などを行うオフィスは、身体障害者授産施設で点字製版技術を習得し、同法人内の点字出版所で働いていた全盲の川崎さんと、職員だった小澤洋子さんとの出会いがきっかけとなり、平成十一年にオープンしました。

「経済的にも職業的にも自立したいと考えていた私は、施設以外

に自分の力を生かせる場がないかと考えていました。そんな思いを抱いていた頃、同じように福祉的就労のあり方に疑問を抱いていた小澤さんと知り合い、自分たちの力で起業しようということになりました」と話す川崎さん。



点字印刷などのほか点訳データの校正やお手持ちの資料のデータ化など1つひとつ丁寧に仕上げます

福祉的就労ではない就労の場を目指したいという思いは、福祉関連の補助や助成を一切受けずに起業した、というお話からもうかがい知ることができました。

「技術を習得した方の多くは、施設や地域作業所など福祉的就労の

場で働いています。そこでは、どうしても障害のある方は利用者、健常者は職員という関係になってしまう。そんな図式を何とか変えることはできないか。障害のある方のできない部分ばかりを見るのではなく、個々の持つ力や技術など、『できる部分』を出し合えるような就労の場が作れないかと考えました。経営は決して順調とは言えませんが、私たちの活動が、障害者の就労に対する理解促進に向け一石を投じるものになれば」と小澤さんは話します。

また、主にパソコン指導を行うスタッフの一人、小沢恒一さんは、「自分で読み書きや情報収集ができるということ、視覚に障害のある方々にこの上ない喜びと生きる自信をもたらします。そんな思いを一人でも多くの方に知ってもらいたい。私は弱視ですので、見えない方の不便を理解し気持ちに添うこともできるし、見ることもできますから、より細やかな指導もできます。そんな、障害者特性として生かせる会社を作っていきたいです」と力強く語ってくださいました。（企画課）

オフィスビジュアル21  
 ☎0466-3518966  
 URL http://www.jade.tn.jp/ov-21/index.htm

### —社会福祉施設の設計監理—

株式会社 安江設計研究所  
 YASUE & ASSOCIATES'Inc.

東京都港区高輪2-19-17-808  
 TEL03(3449)1771(代) / FAX03(3449)1772  
 E-mail: BCH12011@nifty.com



K保育園（横浜市）

新築・増築・改修等お気軽にご相談ください